

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
総社駅南地区(第2期)

平成29年3月

岡山県総社市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	定住人口	人	2,049	2,460	2,496	確定 見込み ●	○	あり なし	2,520	H28年4月	○	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	利便性が高く、安全・安心・快適な住宅市街地として、順調に定住人口が増加している。
指標2	交通ネットワークの満足度	5段階評価の平均点	3.8	4.2	3.9	確定 見込み ●	△	あり なし ●	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・交通量の増加やスピード超過等の新たな課題への継続的な対応が必要である。 ・歩行者軸の整備や住民主体の緑化活動等の効果が現れている。 ・緑化活動は継続的に実施中。
指標3	歩行者空間の満足度	5段階評価の平均点	3.6	4.0	4.0	確定 見込み ●	○	あり なし	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・住民意見を踏まえて整備した街区公園は、多くの方に利用されており、地域の交流が図られている。
指標4	地域住民間の交流の充足度	%	44	51	96	確定 見込み ●	○	あり なし	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み ●	○	あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	交通ネットワークの充足度	%	9.9	/	73.8	確定 見込み ●	/	/	-	H 年 月	/	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・土地区画整理事業等による狭隘道路の拡幅や整然とした道路網整備の効果が現れている。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み ●	/	/		H 年 月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み ●	/	/		H 年 月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	安全・快適な道路環境の維持・保全	・交通安全に係る意識啓発や教育活動の実施 ・官民連携による地域の交通安全対策に係る検討	・地域住民の交通安全に係る意識が高まっている。	・交通マナーの更なる向上 ・小・中学生に対する交通安全の意識・知識の啓発
	街区公園の維持・管理	・公園の維持管理に係る関係自治会との提携	・関係自治会による公園の維持管理が実施されている。	・自治会組織による継続的な公園の維持管理
	快適な自転車・歩行者空間の創出	・住民主体の継続的な緑化活動を実施	・季節の花に彩られた快適な自転車・歩行者空間が創出され、地域の誇りとなっている。	・継続的な緑化活動に向けた参加者の増大
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	大型車の侵入や通過交通のスピード超過等による危険な交通状況の解消	・交通安全に係る意識啓発や教育活動の実施 ・官民連携による地域の交通安全対策に係る検討	・地域住民の交通安全に係る意識が高まっている。	・交通マナーの更なる向上 ・小・中学生に対する交通安全の意識・知識の啓発
	良好な地域コミュニティの維持	・地域コミュニティの活性化を図るイベント等の充実	・地域の祭りやイベントに多くの新住民が参加し、新旧住民の交流が図られている。	・若い世代を含めた地域コミュニティの活性化

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

そうじゃえきなんちくだい き
総社駅南地区(第2期)

おかやま 　 そうじゃし
岡山県 　 総社市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	総社市	地区名	総社駅南地区	面積	90 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標
大目標：いつまでも住み続けられる利便性の高い魅力的な定住環境の整備
目標1：公共施設の整備推進による安全で快適な市街地環境の整備
目標2：人が集い地域コミュニティを育む市街地環境の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
 本地区は、JR総社駅から南へ約1km、総社市中心市街地の南側に隣接して位置しており、地区の西側には、常盤小学校・常盤幼稚園・中央保育所、南側には総社南高校や総社運動公園などの施設が立地する住宅市街地としての利便性に富んだ地区である。
 このような立地特性を活かすため、平成3年度からは、総社駅南土地区画整理事業(52.2ha)に取り組んでおり、骨格道路や生活道路、歩行者専用道路等の整備によって、地区の定住環境が徐々に整いつつある。
 また、平成18年度からは、土地区画整理事業と一体となって、快適で災害に強い市街地環境を整備すべく、総社駅南地区まちづくり交付金事業(現在は社会資本整備総合交付金)に取り組んでおり、防災公園(常盤公園)や、防災関連施設(耐震性貯水槽、防火水槽等)等の整備によって、地区の防災環境が飛躍的に高まり、本地区の新たな魅力を創出している。
 さらに、このような環境整備や、住民との協働によるまちづくりの推進により、地域住民の防災に関する意識が高まり、自主防災組織などの活動も積極的に行われている。
 しかし、地域の事情や社会経済情勢等の影響から、既存集落部等における事業の進捗が遅れており、一部において安全性や快適性に乏しい劣悪な環境が残っている他、地域の身近な憩いの場、交流の場となる街区公園の整備なども進んでおらず、一日も早いこれらの整備・改善が求められている。
 一方、近年の環境保全・健康志向の高まりや、文教施設をはじめとする主要な施設が多く立地している状況から、これらの施設へ安全・快適にアクセスできる自転車・歩行者軸の整備が求められており、これらの実現によって、より利便性の高い魅力的な市街地環境を創出していく必要がある。

課題
 ・土地区画整理事業等の推進により、安全・快適な市街地環境が整いつつあるが、一部の既存集落部等では、公共施設整備の遅れから十分な市街地環境が整っていない。
 ・これらの部分を除いて道路ネットワークとしての機能性と安全性は確保されつつあるが、夜間の通行や歩行に対して、危険が生じている箇所がある。
 ・近隣公園としての常盤公園は整備されたが、地域住民のより身近な憩いの場、新旧住民が融合した地域コミュニティを醸成する場が不足している。
 ・文教施設をはじめとする地区内外の主要施設へのアクセスについて、一部で自動車と自転車・歩行者の錯綜が見られる。

将来ビジョン(中長期)
 総社市都市計画マスタープランにおいて、本地区は住宅市街地ゾーンとして位置づけられており、土地区画整理事業と併せて地域防災施設、公園、道路等の公共施設の整備を図り、快適で災害に強い市街地環境の整備を推進するとされている。この他マスタープランでは、市街地整備の方針として、「生活道路は幅員4.0m以上で改良を図ることを基本とする」、「歩行者や自転車の安全対策の充実に努めゆとりある道づくりを進める」、「土地区画整理事業等の市街地整備とあわせて身近な公園・緑地の確保に努める」、「土地区画整理事業などによる市街地整備の推進により、災害に強いまちづくりを進める」、「防災拠点の整備や避難地となるオープンスペースの確保を図る」ことなどが示されている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
定住人口	人	「住民基本台帳」における総社駅南地区内の定住人口	近年、市の人口増加が停滞している中で、居住環境の整備を進めることにより総社駅南地区内の定住人口の増加を図る。	2,049	H21	2,460	H27
交通ネットワークの満足度	5段階評価の平均点	住民アンケート調査(設問:現在の総社駅南地区内の交通ネットワークは快適で安全である)における5段階評価の平均点	既存集落部における生活道路等の整備により、地域住民が満足できる安全で快適な交通ネットワークの実現を目指す。	3.8	H22	4.2	H27
歩行者空間の満足度	5段階評価の平均点	住民アンケート調査(設問:現在の総社駅南地区内の通学路や歩行者空間は快適である)における5段階評価の平均点	文教施設をはじめとする地区内の主要施設を安全・快適な自転車・歩行者動線で結ぶことにより、利便性の高い、人にやさしい安全で快適な市街地環境の実現を目指す。	3.6	H22	4.0	H27
地域住民間の交流の充足度	%	住民アンケート調査(設問:公園が整備されたことにより、地域住民の交流が促進された)における「そう思わない」以外の割合	街区公園等の地域住民の身近な憩いの空間、交流の場の整備により、人が集いコミュニティを育む市街地環境の実現を目指す。	44%	H22	51%	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 公共施設の整備推進による安全で快適な市街地環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の整備にあわせて、既存集落部等における区画道路の整備を促進することで、緊急車両の進入が困難な狭隘道路を解消し、安全で安心な居住環境を創出する。 ・文教施設をはじめとする地区内の主要施設を安全・快適な自転車・歩行者動線で結ぶことにより、利便性の高い、人にやさしい安全で快適な市街地環境を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路（基幹事業／真壁支線3156号道・市） ・土地区画整理事業（基幹事業／総社駅南土地区画整理事業・市） ・地域創造支援事業（提案事業／総社駅南土地区画整理事業・市単独費）
<p>整備方針2: 人が集い地域コミュニティを育む市街地環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な憩いの空間、災害時の避難場所となる街区公園の整備を促進することにより、安全で快適な居住環境を創出する。 ・常盤小学校のグランド用地を整備することで、学校行事や地域行事の活性化を促進する。 ・地域住民が主体となった公共空間等での緑化活動などについて支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園（基幹事業／石原地内街区公園、石原西地内街区公園、三輪地内街区公園・市） ・地域創造支援事業（提案事業／総社駅南土地区画整理事業・市単独費） ・まちづくり活動推進事業（提案事業／住民が主体となった緑化支援等・市）
<p>その他</p>	

